

地域おこし協力隊
活動記



Facebook
やっています



たなか
よしひろ
の

ずく
だして
こ



No.1

▶太鼓の音色の迫力に
感動しました。



▲ぼたんこしょう畑でわら敷きの作業を体験

こんにちは、田中善大です。6月1日より「中野市地域おこし協力隊」として豊田地域に移り住み、早いもので一カ月が過ぎました。市内に祖母が暮らしていることもあり、仙台にいる頃から年に何度もこの地を訪れますが、訪れるのは決まってお盆や年末年始。梅雨の時期を過ごすのは初めてで、夏に向けて新緑が深緑に染まっていく風景や、湿った空気に含まれる土の香りなど、暮らすことによって気付ける季節の移ろいを楽しんでいます。

さて、早速イベントなどを通してさまざまな活動をしています。着任後まもなくして開催された「斑尾ふるさと祭り」は最も印象に残っています。これまで神事を通してローカルな祭りの経験はしていますが、模擬店と催しがメインのものは初めて。「地域から地域へ」という運営側と参加者の関係は会場に温かさをもたらしていて、非常に感動を覚えました。

今後も活動内容などをお伝えしていきます。SNSでも発信していきますので、そちらもご覧ください！

非核平和ポスター展

～金賞作品3作品を紹介～



上野 咲来さん (倭小6年)



岩崎 仁菜さん (科野小5年)



土屋 怜那さん (平岡小6年)

戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さについて学習を深めていただくために、市では、小学校の高学年の皆さんから「非核平和ポスター」を募集しました。本年度は、平岡、科野、倭小学校の児童の皆さんから合計50点の応募がありました。

入選作品に決定した17点は、次のとおり展示します。

展示日程 8月31日(木)まで

場所 市役所市民ホール、豊田支所

市民リレー 元気の輪

No.32

津金義二さん
からのご紹介



金婚式を6年前に迎え、大きな病気もなく、健やかに生活しています。自宅用に野菜やお米を栽培し、ご近所におすそ分けしたり、週に一回のゲートボールの練習や大会で同じ年代の仲間と交流をしたり、自由な時間が多い今、人生で一番良いときと感じています。

○元気の秘訣

健康的な体に産んでいただいたおかげで、大きな病気もなく、薬も特に常用していません。特段気を付けていることはないですが、無理をしないことを心掛けています。「ここまでやらなきゃ」と自分を追い込まず「ここまでやればいいかな」とできるところまでやるようにしています。あとは、テレビ番組などで健康に良くないと言われていることはやらないようにしています。

○おらほの自慢

9月に祭りがあります。神楽と一緒に子どもたちがちょうちんを持って行進して、練習を別々に行った男獅子と女獅子がお宮で共に舞います。お祭り以外にも、やしうま作りや「ものづくり」など伝統があり、子どもたちと一緒にいう行事が多いです。

○自己紹介

旧三水村の生まれで、こちらに嫁いでから農家をやっています。昔は農業も手作業で行うものが多く、牛を使って畑を耕したり、稲を自宅に持ち帰り、夕飯を挟んで稲こき作業をしたりと、時間を掛けたものです。人手が必要な時期になると、農家は協力して「今日はあっちの畑、明日はこっちの田んぼ」とお互いの農作業をまとめてやっていました。

今は、小分けになっていた田んぼがまとまり、草刈も大きな一つの田んぼの周りをするだけ、田植えも機械で素早くできます。稲こきも機械を田んぼに持っていけば簡単にできてしまう便利な時代になってよかったですと感じています。

池田市長

日野原重明先生をしのぶ

日野原先生には長年にわたって、中野市の健康づくりについてご指導をいただきました。特に脳卒中による死亡率が高いことに注目され、脳卒中の重要な危険因子である高血圧の予防のため減塩運動の必要性を説かれ、昭和54年から全国に先駆けて調査研究を開始され、食生活改善に関心が高まるきっかけとなりました。

これまでに先生の中野市に対するご支援に深く感謝するものです。これからは、先生からご指導いただき培われた健康づくりの取り組みを一層促進することが、ご恩に報いることと、深く感じている次第です。

最後になりましたが、日野原先生のご冥福を謹んでお祈りし、お送りしたいと思えます。ありがとうございます。

先生が中野市に残された数々の健康づくりの普及、血圧自己測定普及事業、また、昭和62年からは頻繁に中野市へお越しいただき、健康づくりをテーマに講演いただくなど、中野市とのご縁は非常に深いものがあります。



日野原 重明 先生

「生涯現役」として著作や講演など幅広く活動。聖路加国際大学名誉理事長。聖路加国際病院名誉院長。7月18日死去。105歳。

昭和53年から本市の健康づくりにご指導いただきました。昭和62年からは本市で頻繁に講演会を行い、血圧自己測定促進などの地域ぐるみで行う健康増進、保健補導員の積極的な研修のきっかけをつくるなど、市民主体の「健康づくり」の構築に大きく寄与をしていただきました。

※今月の「池田市長のわくわくレポート」は休載